

山直北地区のまちづくりについて

経 過

～平成28年度

平成28年12月

まちづくり説明会：3回
泉州山手線沿道のまちづくりの方針 策定

平成29年度

7月20日外
9月 3日

泉州山手線の都市計画変更に関する説明会
まちづくり説明会
（内容）意向調査結果報告、まちづくり構想、今後の進め方
まちづくり意見交換会
（内容）意向調査結果報告、今後の進め方
泉州山手線 都市計画変更

平成30年度

9月 2日

まちづくり勉強会の設立
第1回勉強会
（内容）土地区画整理事業の概要
第2回勉強会
（内容）土地区画整理事業の流れ
第1回個別相談会
（内容）個別権利者に対するヒアリング
第3回勉強会
（内容）これまでのおさらい、今後の進め方

令和元年度

6月16日

第4回勉強会
（内容）質問意見のまとめ、まちづくり手法判断のための具体的検討
第2回個別相談会
（内容）個別権利者に対するヒアリング
第5回勉強会
（内容）土地利用意向調査結果報告、事業化検討パートナーの必要性
第6回勉強会
（内容）企業調査途中経過報告、税金
第7回勉強会 ※書面開催
（内容）これまでのふり取り、企業調査、事業化検討パートナー募集

令和2年度

8月12日
～23日
11月29日
1月17日

第3回個別相談会
（内容）個別権利者に対するヒアリング
まちづくり研究会の設立
まちづくり研究会 第1回役員会
（内容）活動内容の具体的な内容、意見交換
第1回意見聴取会
（内容）個別権利者からの意見聴取
まちづくり研究会 第2回役員会
（内容）事業化検討パートナー募集、意見交換
事業化検討パートナー募集開始

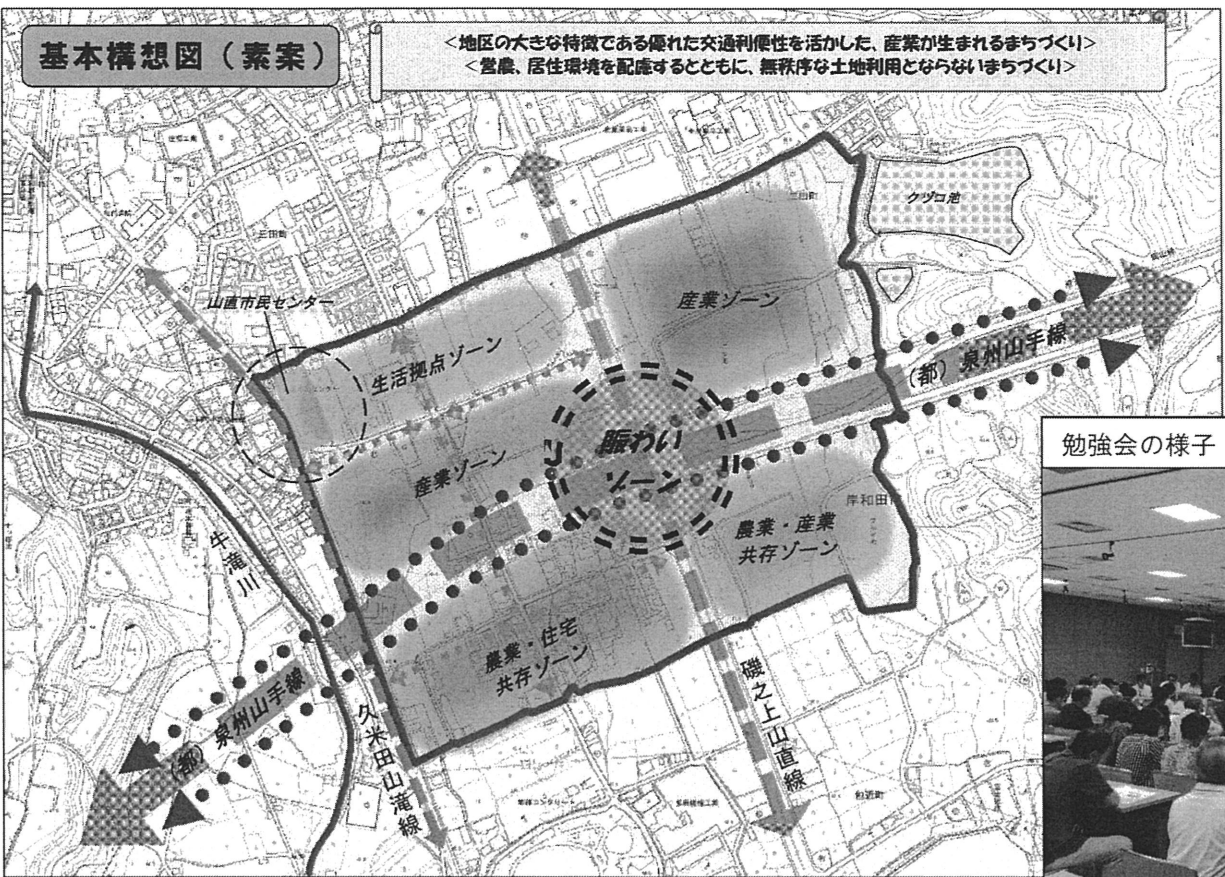
令和3年度

6月27日

提案内容のプレゼンテーション、審査会、第3回役員会
（内容）プレゼン及び審査会の結果を踏まえ、役員会にて事業化検討パートナー選定

（予定）

準備組合設立、都市計画手続き、事業着手 など



勉強会の様子



山直北地区まちづくりニュース 第13号
2021(令和3)年6月 発行
発行：山直北地区まちづくり研究会

事業化検討パートナー 株式会社フジタを選定

その後、提案募集に係る審査会及び役員会を開催し、『株式会社フジタ』を山直北地区における事業化検討パートナーとして選定しました。今後は、本研究会と事業化検討パートナーとの間で、まちづくりに関する各種検討を行っていくことになります。なお、審査等に関しては、学識経験者にも参画いただきました。

当日の流れ

1. 提案企業からのプレゼンテーション
2. 提案企業への質疑
3. 審査会・役員会

学識コメン

石田教授(同志社大学)
「関係者の意向を丁寧に聴き、地域の雇用創出につながる取組も重要」

伊勢准教授(和歌山工業高等専門学校)
「持続可能なまちづくりということで、今後もより快適な環境を継続するように取組んでいくことが重要」

審査の視点

周辺にもメリットある？
周辺環境への配慮は？
山直北地区の特徴を活かしてる？
土地利用に関する提案内容
エリアの特徴は考慮されてる？
地元の連携体制は？
事業のスケジュールは？
実現できそう？
応募企業の取組体制は？
事業完了に向けた取組体制
提案の概要は裏面をご覧ください

株式会社フジタ まちづくり提案の概要

＜参考＞ 将来構想図（素案）

土地活用ゾーニング図

提案概要

◆本提案のポイント

- 1 地域の特性と安心・安全に配慮したまちづくりを目指します。
 - 上位計画や立地的ポテンシャルを踏まえた計画
 - 『岸和田新拠点：新時代を築く複合型まちづくり』(テーマ設定とゾーニング)
 - 持続可能なまちづくり
- 2 地域者の皆様の思いに寄り添いながら事業化を検討してまいります。
 - 直接対話による地域者の皆様の土地利用意向や課題の把握
 - 個別の事情にも配慮したきめ細やかな対応による不安や課題の解消
 - 地域者の皆様の意向を反映した土地利用計画の策定
- 3 確実かつ安定的にまちづくりを実現してまいります。
 - 最適なまちづくり手法の検討
 - 段階的な事業化
 - 万全な取組体制

公共施設

快速な交通ネットワークを構築するため、既存道路の拡幅や新設道路の整備を検討します。

公園

岸和田市のまちづくりビジョンや関係法令等を踏まえて、新たな公園整備を検討します。

調整地

排水路及び緑地を考慮し、A・DエリアとB・Cエリアに分けて、調整地の整備を検討します。

いよいよ、事業化検討パートナーを選定し、まちづくりの具体的な検討を進めていきます。バス等の公共交通についても、連携して取組を進めていきますので、今後も、より良い山直北地区のまちづくりのため、皆さまのご協力をお願いします。

まちづくりに関する内容や取組状況等のお問合せ・ご相談は下記までお気軽に。

山直北地区まちづくり研究会 事務局
(岸和田市まちづくり推進都市街地整備課)

電話:072-447-6526
FAX:072-437-9171
メール:machi-yama@city.kisuiwada.osaka.jp
市HP:http://www.city.kisuiwada.osaka.jp/sosiki/47/yamakitai.html

令和3年度 第1回岸和田市都市計画審議会

公共交通軸の 形成に向けた取組

泉州山手線と沿道まちづくり手法の検討（ウラ面参照）と並行して、岸和田市では「より便利」、「より暮らしやすい」まちを実現していくために、第一段階として新しく拠点となる山直北地区で、バスなどの公共交通を充実させるなど、より魅力が高める公共交通軸の形成に向けた取組を行っています。具体的には、和泉中央駅を結ぶ路線バスや、関西国際空港を結ぶリムジンバスなど、大阪・堺と空港を結ぶ軸、通勤・通学等のための足としての利用を想定しています。

＜公共交通軸のイメージ＞



城と祭りと輝く未来
岸和田市制100周年

岸和田市100周年記念事業

泉州山手 未来への懸け橋 プロジェクト

～ 次の100年へ、新たな拠点を作ります。～

100周年である令和4年度に向けてモビリティポートを整備し、和泉中央駅からのバスの導入など市域を跨いだバス交通の充実を図ります。

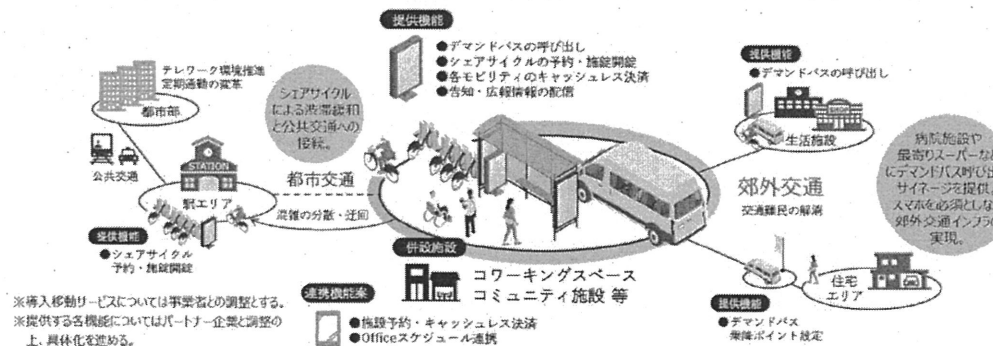
＜新たな拠点 モビリティポート山直北＞



※掲載写真はイメージです

モビリティポートで人とまちを結び 地域に根付く新しい移動サービスを提供

まちとの隔たりがある郊外エリアに対して、コワーキングスペース・コミュニティ施設等にモビリティポートを併設し、シェアサイクル・デマンドバスの発着点となるターミナルを構築します。郊外とまちとの循環を創り出すと共に、コワーキング需要を踏まえた働きやすい環境を提供し、地域経済の活性化をめざすべく社会実装の検証を行います。



＜問合せ先＞

岸和田市まちづくり推進部市街地整備課

電話:072-447-6526

FAX:072-437-9171

メール:shiseibi@city.kishiwada.osaka.jp

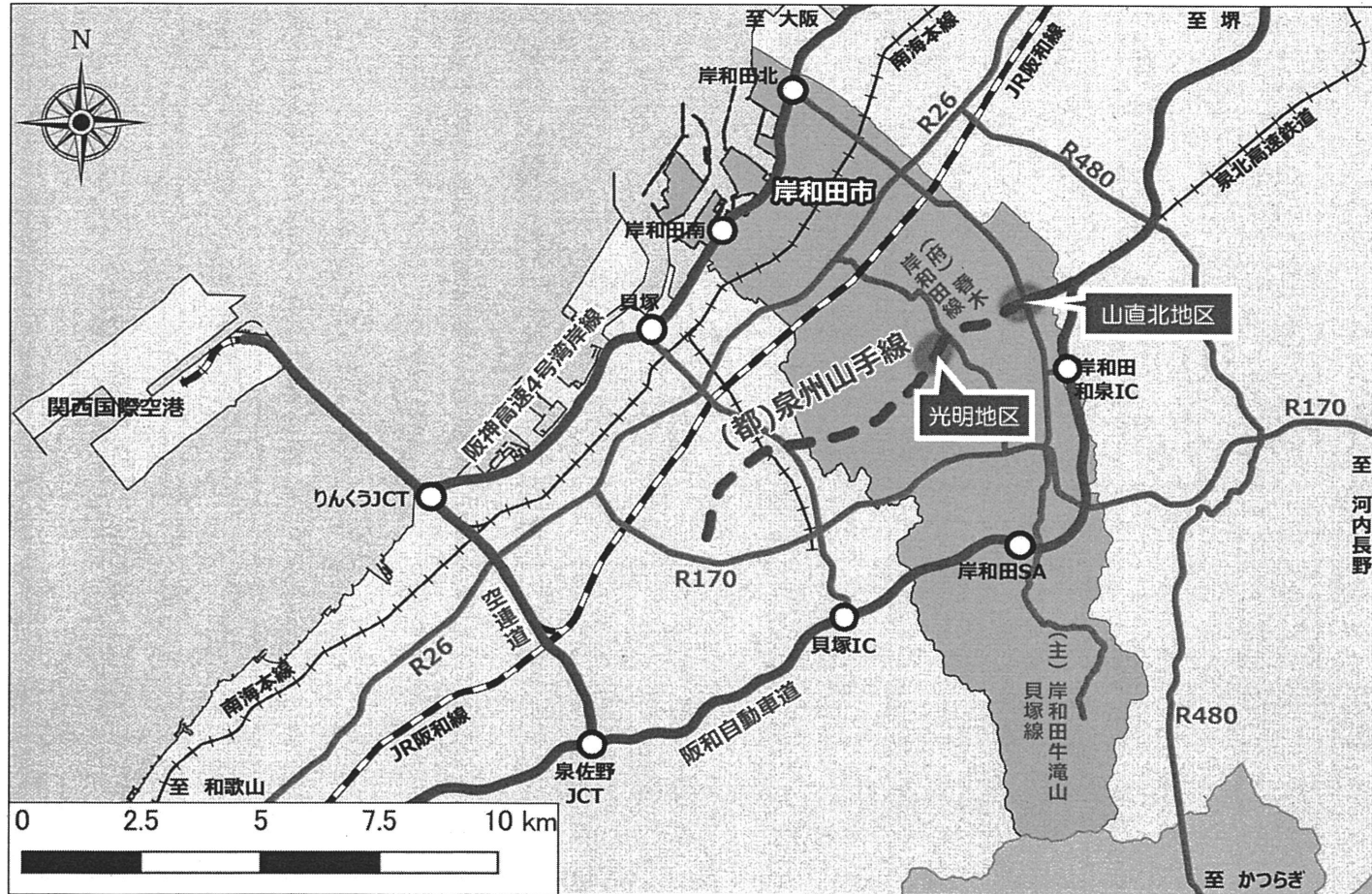
泉州山手線 まちづくり



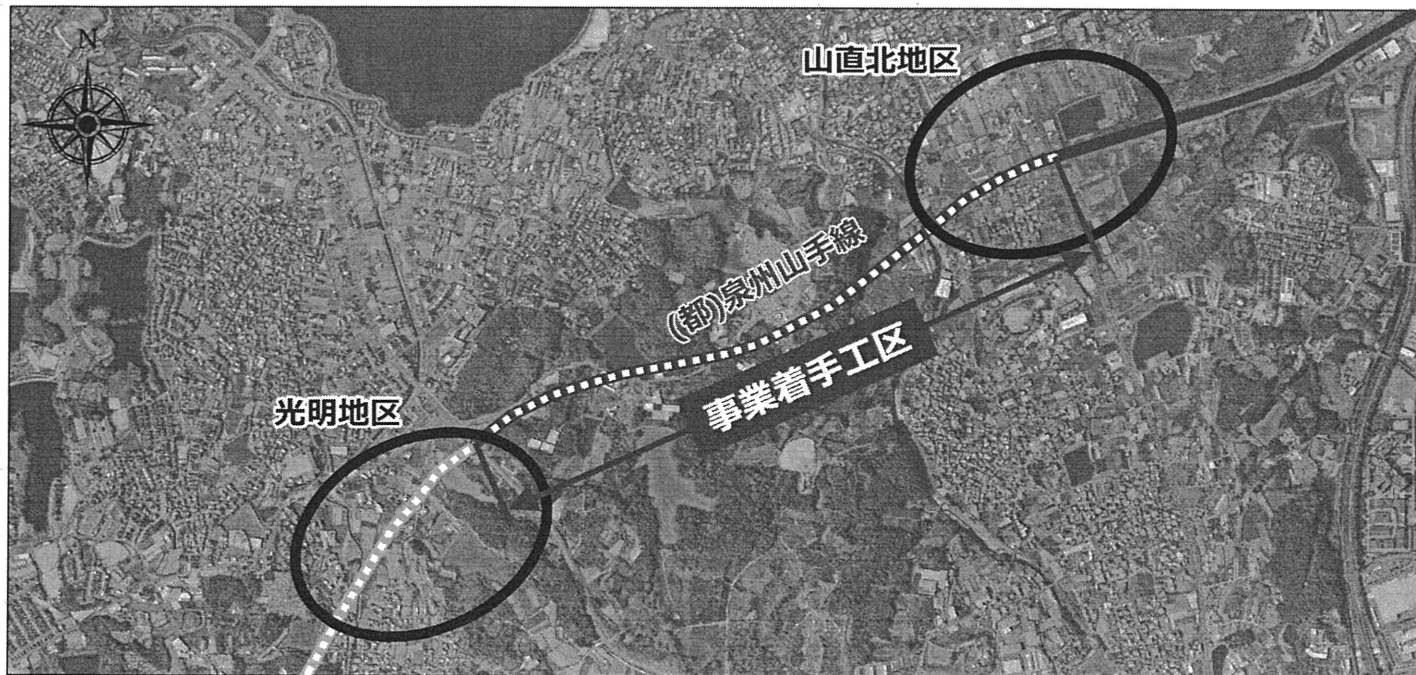
都市計画道路 泉州山手線のいま

都市計画道路泉州山手線は、大阪都心部と関西国際空港を繋ぐ泉州地域の丘陵部における広域幹線であり、泉州地域のみならず南大阪の魅力を高める新たな交通の軸として計画されている道路です。また、南海トラフ地震や台風等の災害に備え、沿岸部の交通の軸とともに、大阪都市圏の安全・安心を高める丘陵部の交通の軸としても計画されている路線でもあります。

そのうち、岸和田市区間においては、岸和田牛滝山貝塚線から熊取町の国道170号までの区間(約9.5km)について、大阪府による事業化が予定されています。岸和田市では岸和田牛滝山貝塚線(磯之上山直線)から春木岸和田線(岸和田中央線)までの区間が先行して事業化する工区となっており、両道との結節点となる2地区(山直北・光明)で取組んでいる、沿道のまちづくりと合わせて整備が進められる予定です。

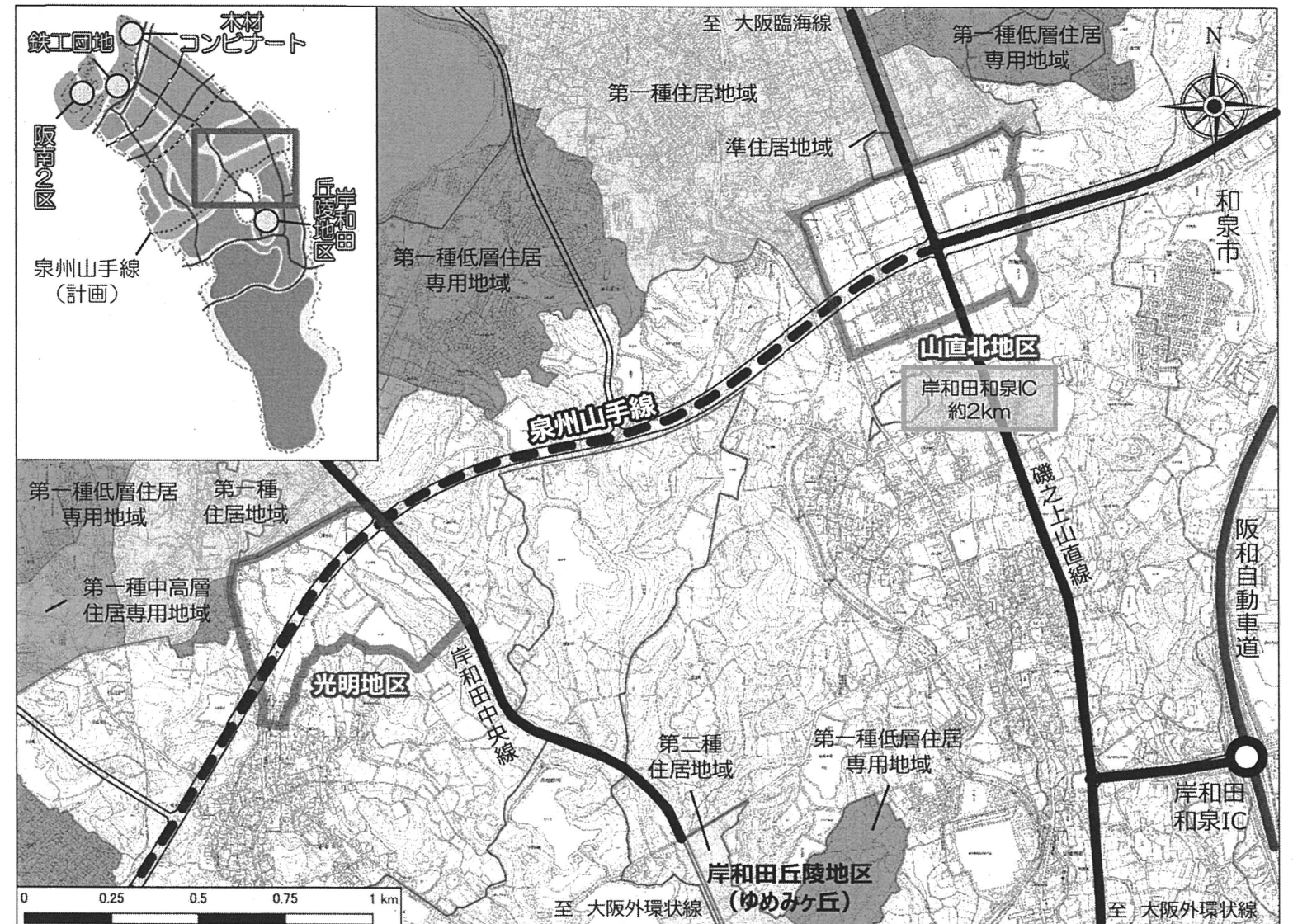


<航空写真と事業着手工区>



泉州山手線沿道の まちづくり

泉州山手線沿道では、地域の活性化につながる計画的なまちづくりに取組む必要があることから、「泉州山手線沿道のまちづくりの方針」を策定し、山直北・光明地区で土地区画整理事業等のまちづくり手法について、地元住民の方と検討しています。特に、山直北地区では地元主体の「山直北地区まちづくり勉強会」から「山直北地区まちづくり研究会」にステップアップし、事業化検討パートナーの募集等、具体的な取組みを進めています。



<基本構想図(素案)>



※基本構想図の内容は、あくまで現段階のイメージです

